

6 本時のねらい

ロールプレイングやゲストティーチャーの話を聞く活動を通して、高齢者と関わり、協働することの大切さに気付き、地域の一員として自分にできることを考え、高齢者との関わり方を工夫することができる。

7 本時の展開（2／4時）

過程	生徒の主な学習活動	主体的・対話的で深い学びの実現に向けて	留意点等
課題設定	<p>1 前回の振り返りを交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者にはもっと親切にして、いろいろなことをやってあげなければならないと思った。 		<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の立場になって、毎日の生活について考えさせる。
課題追究	<p>課題：中学生として高齢者とどのように関わるとよいだろう。</p>		
	<p>2 地域の祭で高齢者と関わる場面を想定し、どのように役割分担をしたらよいかを考え、交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の方は体を動かすのが大変だから、重い荷物を運ぶのは、元気な私たちがやればよいと思う。 	<p>【主体的な学び】 生活の中から問題を見いだす</p> <p>自分の生活と結び付けて考えられるように、多くの生徒が参加した地域の祭りを想定する。</p>	<p>工夫・改善点</p> <p>事前のアンケートで、今までに高齢者とどのような場面で、どんな関わりをしてきたのかを把握しておく。</p>
	<p><ロールプレイングに登場する高齢者の設定> 70歳／細かい字が読みづらい／細かい作業が少しやりにくい時がある／少し聞こえにくい時がある／しゃがんだり立ったりすると腰が痛い</p>		
	<p>3 地域の方から学ぶ(ゲストティーチャー)</p> <p>「高齢者のために」と思うとついやってあげてあげること考えがちだが、全てやってもらうと申し訳ない気持ちになる。また、高齢者と言っても元気な高齢者もいる。しかし、できないことは少しずつ増えてきているから、手助けしてもらってありがたい。でも、全てやるのではなく、一緒に協力してやっていくのはどうか。一緒に活動する中で子どもたちと話すとうれしく出てくる。そうやって地域のみなと協力して活動していくことが心と体の健康にもつながっていく。</p>		
4 シナリオづくりの視点を確認する。	<p>5 ゲストティーチャーから学んだことを基にして、先ほどの役割分担に色ペンで加筆・修正し、ロールプレイングを試みる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全部自分たちでやるつもりだったけど、「ジュースを運ぶので、並べてもらえませんか?」と声をかけてみる。 	<p>【対話的な学び】 他者との対話・協働</p> <p>高齢者の特徴とゲストティーチャーの話を踏まえて、RPの役割やセリフを加筆・修正し、実際に行う。</p>	<p>工夫・改善点</p> <p>実際にやってみることで、話し方や声の大きさに配慮することにも気付かせる。</p>
6 ゲストティーチャーより、ロールプレイングの評価をいただく。	<p>6 ゲストティーチャーより、ロールプレイングの評価をいただく。</p>	<p>【深い学び】 生活とのつながりの実感</p> <p>RPの評価から、生活とのつながり・生かし方を実感する。</p>	<p>工夫・改善点</p> <p>高齢者にお世話になった事例を紹介し、共に地域で生きてきたことを実感させる。</p>
	<p>あからさまな高齢者扱いではなく、一緒に活動しようとしているところがいい。元気な高齢者もたくさんいて、高齢者扱いされることを嫌がる人も。困っていることも人それぞれ違うので、聞いてもらうのはありがたい。少し聞こえにくい時があるから、はっきりと話されると嬉しい。また、祭りの時だけでなく普段から関わっていけるともっと嬉しい。</p>		
課題解決	<p>7 本時のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者だからできないだろうという、決めつけからではなく、支え合い、共に生きていくことがこれからの生活では大切である。 <p>8 本時を振り返る。</p>		<p>■評価の観点</p> <p>【工夫・創造】</p> <p>高齢者の身体的な特徴と思いを理解し、地域の一員として自分たちにできることを考え、互いに支え合えるような関わり方を工夫している。</p> <p>■評価の根拠</p> <p>ワークシート 発言内容</p>
	<p>■授業後の意識</p> <p>私は、住生活で疑似体験をふり返った時、高齢者の身体的特徴から、高齢者は動きにくく大変なので、いろんな活動はできるだけ私たちがやってあげればよいのだと思っていました。でも、今日のゲストティーチャーの話を聞いて、高齢者に対する印象が変わりました。確かに、私の祖父もまだまだ元気で、一緒に遊んでくれます。でも、新聞を読みにくそうにしていたりすることもあります。できないことも増えてくるだろうけど、全てやってあげるのではなく、一緒に協力してやっていくことが、高齢者の方にとっては嬉しいんだと気付くことができました。今回は祭りで考えましたが、スーパーや電車など、さまざまな場面で高齢者の方を見かけます。地域に生きる一員として、共に支え合っていけるよう、自分にできることを考えて、もっと関わりをもちたいと思いました。</p>		

